

平成23年度大阪府立清水谷高等学校 学校協議会（第1回）

記録概要

1 日時： 平成23年11月29日（火）午後3時～午後5時

2 場所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

(敬称略)

近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立新喜多中学校長	八田 磨
平成23年度 同窓清友会副理事長	伊藤 恵美子
平成23年度 大阪府立清水谷高等学校 PTA 会計監査委員長	林 宏匡

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席、首席（兼進路指導部長）、

将来構想委員（首席、教務部長、生徒部長、公選委員2名） ※書記：首席青木

4 内容：

- 1 学校協議会開会
- 2 配付資料説明
- 3 学校長挨拶
- 4 協議会委員並びに学校関係者自己紹介
- 5 座長選出
 - 座長には、田中保和委員を選出しました。
- 6 協議
 - ・本年度学校協議会趣旨説明並びに今後の日程等
- 7 学校協議会閉会

5 協議：

テーマ「主体性のある学習態度の育成について」

- このテーマで本校が取り組んでいる内容について、ご意見等を頂く

◆本校は、今年度から従来の2期制を廃止して3学期制になった。その趣旨が、「主体性のある学習態度を育成するため」である。

今回の協議会では、3学期制移行への経過等を含む生徒実態に関する報告や新たな取り組みの進捗状況等の報告を聞いて頂きながら、質疑応答や意見交換をした。

▼以下、質疑応答や意見交換の要旨を掲載します。

① 3学期制への移行

- ・ 移行の契機となった「今の制度で清水谷の生徒を最大限伸ばせているか？」に感動した。
- ・ 東大阪市の中学校は、現在すべて2期制である。
- ・ 大阪市内の中学校は3学期制なので、2期制のことはよくわからないが、本校が3学期制になっていて安心できた。

② 家庭学習の定着が弱い現状

- ・ 小学校、中学校での宿題が少ない。その一方で、塾に通い、与えられた課題には一生懸命取り組んでいる。
- ・ 自分で考えて勉強する習慣が、小さい頃より身につけていない現状がある。
- ・ 小学校～大学生まで、生徒たちは、すぐに解答を知りたがる、聞きたがる。
- ・ 小学校では、担任が宿題等で家庭学習をコントロール。中学校では、ある程度自分で家庭学習を考え、高校では、更に自主的な家庭学習ができるのが理想。

③ 「志学（こころざしがく）」 振り返り HR、進路 HR の実施

- ・ 至れり尽くせりの取組みだと思った。後は、生徒自身が勉強するだけ。
- ・ 振り返り HR は、まさしく PDCA。PDCA サイクルの大切さを伝えたい。
※PDCA： PLAN（計画）⇒ DO（実行）⇒ CHECK（評価）⇒ ACT(改善)

④ 1年生（66期生）アンケート

- ・ 清水谷高校を選ぶ項目の中で、「校風」が高い評価を得ていることについて納得できる。

⑤ 主体性のある学習態度の育成とは？ - それぞれの捉え方 -

- ・ 疑問に思うことをつきつめさせる指導により、達成した時の喜びを感じさせる。
- ・ 予習をすることは、知っているという自信が生み出すパワーにつながる。
- ・ 清水谷が求める、追求する人間像を確立する。
- ・ 授業の雰囲気作りや先生との出会いは大切ではないか。
- ・ 大学受験のテクニックだけが身につく学校になって、偏った清水谷生を生み出してほしくない。
- ・ 清水谷高校は、普通科 (=General) であり続けてほしい。

6 その他：

・ 今後の日程と内容の確認

第2回 1月17日(火)を予定

壱月祭(合唱コンクール)を見学し、生徒の様子を見て頂くことを考えています。

第3回 3月 開催予定